

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	のため・べっぷ（単位1～5）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	195	(回答者数) 121
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	丁寧な面談と継続的な支援計画の見直し	契約時に放課後支援の目的（社会性・集団活動・自己調整）を具体的に説明 学校生活での様子も踏まえて支援計画を作成 半年ごとに面談を実施し、目標の再設定を行っている	面談記録の様式統一とデータ管理 支援目標と日々の活動の紐づけを明確化
2	子どもの主体性を尊重した集団支援	活動の中で自分で選択する場面を設けている 役割分担を通して責任感を育てている トラブル時は対話を通して解決を支援している 職員間で児童の状況共有を徹底している	子ども自身が目標を意識できる仕組みづくり グループ活動の振り返り時間の充実
3	運動を軸とした専門的支援体制	広い活動スペースを活用したダイナミックな運動 チーム競技を通じた協調性の育成 年齢・学年に応じた運動強度の調整 集団支援を中心とした構成	プログラムの体系化 運動と支援目標の可視化 スポーツデーの質向上

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害訓練の周知不足	実施し、おたより、ブログ等で発信しているが認知不足	メール等で案内を行っていく
2	保護者・きょうだい交流機会の少なさ	プライバシーへの配慮	集合型交流を無理に拡大しない。 個別面談・相談体制の充実を優先する。 希望制で小規模実施の可能性を検討する。 プライバシー配慮を最優先とする。
3	地域交流機会の少なさ	利用児童は学校で日常的に地域交流を行っている。 事業所としては運動を中心とした集団支援に特化している。	地域交流の拡大を目的化しない。 必要に応じて学校との情報共有を強化。 支援の質向上を優先する。